

製品名: NAT1 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe85824

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 34 kDa; Observed MW: 34 kDa

抗原情報

遺伝子名	NAT1
別名	AAC1; MNAT; NATI; NAT-1
遺伝子 ID	9.0
SwissProt ID	P18440
免疫原	ヒト NAT1 の合成ペプチド

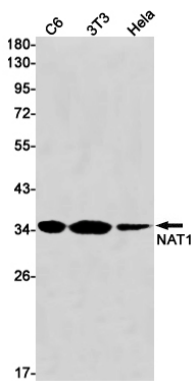
背景

多数のヒドラジン系およびアリアルアミン系薬剤の解毒に関与する。様々なアリアルアミンおよび複素環式アミン基質の N-または O-

アセチル化を触媒し、既知の発がん物質を活性化する能力を有する。その他 NAT1 は歴史的に単型性酵素と考えられてきたが、NAT1 遺伝子座における対立遺伝子変異の報告から、多型的に発現する酵素であることが示唆されている。注意 NAT1*17 と命名された対立遺伝子変異 Ile-149 は、命名委員会によって報告された NAT1*11 対立遺伝子変異の一部である。

研究分野

画像データ



NAT1 抗体を使用した C6、3T3、Hela 溶解物中の NAT1 のウエスタン プロット分析。